

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県川西市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	川西市文化遺産継承・活性化プラン		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>川西市内の各地区で受け継がれてきた貴重な伝統文化遺産を次世代に継承し、地域を活性化することにより、住民が愛着と誇りを持つ地域づくりを達成することを目的として、以下の取り組みを実施する。</p> <p>また、期間中は地域の伝統文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>1. 市内各地区の太鼓台・だんじり等の修理事業及び継承事業の活性化。</p> <p>2. 上記太鼓台・だんじり等の修理事業及び活性化に係る記録作成。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。</p> <p>川西市教育委員会 社会教育・文化財課</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>平成29年度川西市文化遺産継承・活性化事業実行委員会（会長：石原有二）</p> <p>構成団体（川西市教育委員会・東久代秋祭り実行委員会・東多田獅子舞保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 0 千円	平成29年度申請額： 1,862 千円
		(2) 実施事業の概要	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>地域に継承されてきた文化遺産に対する市民の関心や意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への継承が確実にされるとともに、地域への愛着と結びつき、伝統文化を通じた地域の魅力発信、地域の活性化等が期待できる。また、行政と民間団体による連携・協力体制が構築されるほか、市民による自主的なまちづくりが推進され、市の掲げる「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」の主旨に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在のところなし。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	川西市教育委員会 教育推進部 まなび支援室 社会教育・文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	川西市文化財資料館・郷土館・歴史民俗資料館の年間入館者数			関連事業:	①・②	
目標値 1 :	平成 28 年度		15,700 人	⇒	平成 33 年度 25,300 人	
設定根拠 1 :	平成26年度以降の川西市文化財施設入館者数の伸び率1.1倍を参考にして、毎年伸び率1.1倍と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	平成29年度実施2団体における祭礼行事継承保存会の会員数			関連事業:	③	
目標値 2 :	平成 28 年度		40 人	⇒	平成 33 年度 44 人	
設定根拠 2 :	平成28年度までは横ばいであるが、修理事業を契機として毎年平均伸び率2%を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

